



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな水 47

保古の湖

東濃の軽井沢



▲湖上からワカサギ釣りが楽しめる

ひと口メモ

保古の湖の天然スケートリンクは、とても広く、かつて東海随一のスケート場と評され、スケートを楽しむ多くの人でにぎわった。しかし、近年は暖冬のため、スケートができるほど厚い氷が張らなくなってしまった。

恵那市東野と中津川市にまたがる根の上高原にあるかんがい用の人口湖。大正13年に完成した保古の湖は、海拔850㍎、周囲5㍎、最大水深16㍎、満水面積約43平方㍎あり、中部地方随一といわれた。この付近一帯は^{えなさん}胞山県立自然公園に指定され、ルアーフィッシングやワカサギ釣りなどが楽しめる。夏は涼しく、秋には湖面に映る紅葉が美しく、東濃の軽井沢とも呼ばれる。周辺にはマレットゴルフ場やキャンプ場などのアウトドア設備や国民宿舎恵那山荘が整備されており、家族連れなどでにぎわう。



▲毎年5月初めには、一面にツツジが咲き、根の上高原つつじまつりが開催される

映画「青い山脈」

市民の心のよりどころ

えな自慢
えな景 48



▲映画「青い山脈」は全国で上映された

ひと口メモ

後に来市した松林監督は、「全国でロケ地を探したが、中央線の模々根トンネルを出て、パッと広がる美しい山並みを目にしたとき、ここしかないと思った」と語った。そして、その感動が映画冒頭のシーンに使われた。

昭和32年、恵那市と中津川市でロケーションが行われた東宝映画。原作は石坂洋次郎、監督は松林^{しゅうえ}宗恵。俳優は、現大正村村長の司葉子（島崎雪子役）や宝田明、雪村いづみ、久保明など。恵那高等学校や恵那峡、大井橋辺りの阿木川のほとり、中央通りなどでロケーションが行われた。多くの市民もエキストラや裏方の手伝いとして映画づくりに参加し、その体験が主題歌の「青い山脈」と共に市民の心のよりどころになった。「青い山脈」は、過去5回も映画化されており、恵那でロケされた映画は、2度目のもの。「新子の巻」と「雪子の巻」の前後編に分かれている。



▲映画に出演した日本大正村村長の司葉子さん

次号は5月15日号
発行日は5月13日金です

広報えな No.150
2011年（平成23年）
5月1日発行

発行 恵那市役所／編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111／FAX 25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』5月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約9.4円（税込み）です。



◀市安心安全メール配信システム
（登録用QRコード）
市WEB版文字放送システム▶
（閲覧用QRコード）

口問い合わせ 防災情報課（内線317）



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

